

# 若草中学校区学校規模適正化 地域説明会

R5.4



奈良市教育委員会事務局  
教育政策課

# 説明内容

---

1. 学校規模適正化について
2. 若草中学校区の現状
3. 教育委員会の方針
4. 統合による教育的効果
5. これからの教育
6. 学校規模適正化事例
7. 今後のスケジュール

# 1. 学校規模適正化について

## • 学校規模適正化の考え

- \* 児童生徒が集団の中で多様な考えに触れる
- \* 一人一人の資質や能力を伸ばす
- \* 一定の集団規模が確保されている事が望ましい

## • 奈良市において

- \* 一定規模の集団の学びを確保する
- \* 多様な考えに触れ、切磋琢磨する
- \* 思考力や表現力、問題解決能力を育む
- \* 社会性や規範意識を身に付けさせる教育環境づくり

# 学校規模適正化 中学校区別実施計画

---

## 「後期計画」

鼓阪小学校は過小規模、鼓阪北小学校は小規模校であり、若草中学校区全体の教育環境を鑑みた小中一貫教育を軸とした統合再編を検討する。

(平成28年10月策定)

## 2. 若草中学校区の現状

### 若草中学校区の小中学校



# 学校別・学年別児童数の推移

\*数値は令和4年5月1日現在の住民基本台帳による推計  
学級数は特別支援学級を除く

## 鼓阪小学校

年度 (令和)	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特支 学級	合計	
	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	人数	学級 数
4	12	1	18	1	6	1	16	1	18	1	10	1	5	85	6
5	10	1	12	1	18	1	6	1	16	1	18	1	6	86	6
6	14	1	10	1	12	1	18	1	6	1	16	1	6	82	6
7	7	1	14	1	10	1	12	1	18	1	6	1	6	73	6
8	8	1	7	1	14	1	10	1	12	1	18	1	7	76	6
9	7	1	8	1	7	1	14	1	10	1	12	1	7	65	6

## 佐保小学校

年度 (令和)	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特支 学級	合計	
	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	人数	学級 数
4	72	3	74	3	67	2	66	2	54	2	65	3	31	429	15
5	54	2	72	3	74	3	67	2	66	2	54	2	34	421	14
6	65	3	54	2	72	3	74	3	67	2	66	2	39	437	15
7	61	3	65	3	54	2	72	3	74	3	67	2	43	436	16
8	55	2	61	3	65	2	54	2	72	3	74	3	46	427	15
9	53	2	55	2	61	2	65	2	54	2	72	3	47	407	13

# 学校別・学年別児童数の推移

\*数値は令和4年5月1日現在の住民基本台帳による推計  
学級数は特別支援学級を除く

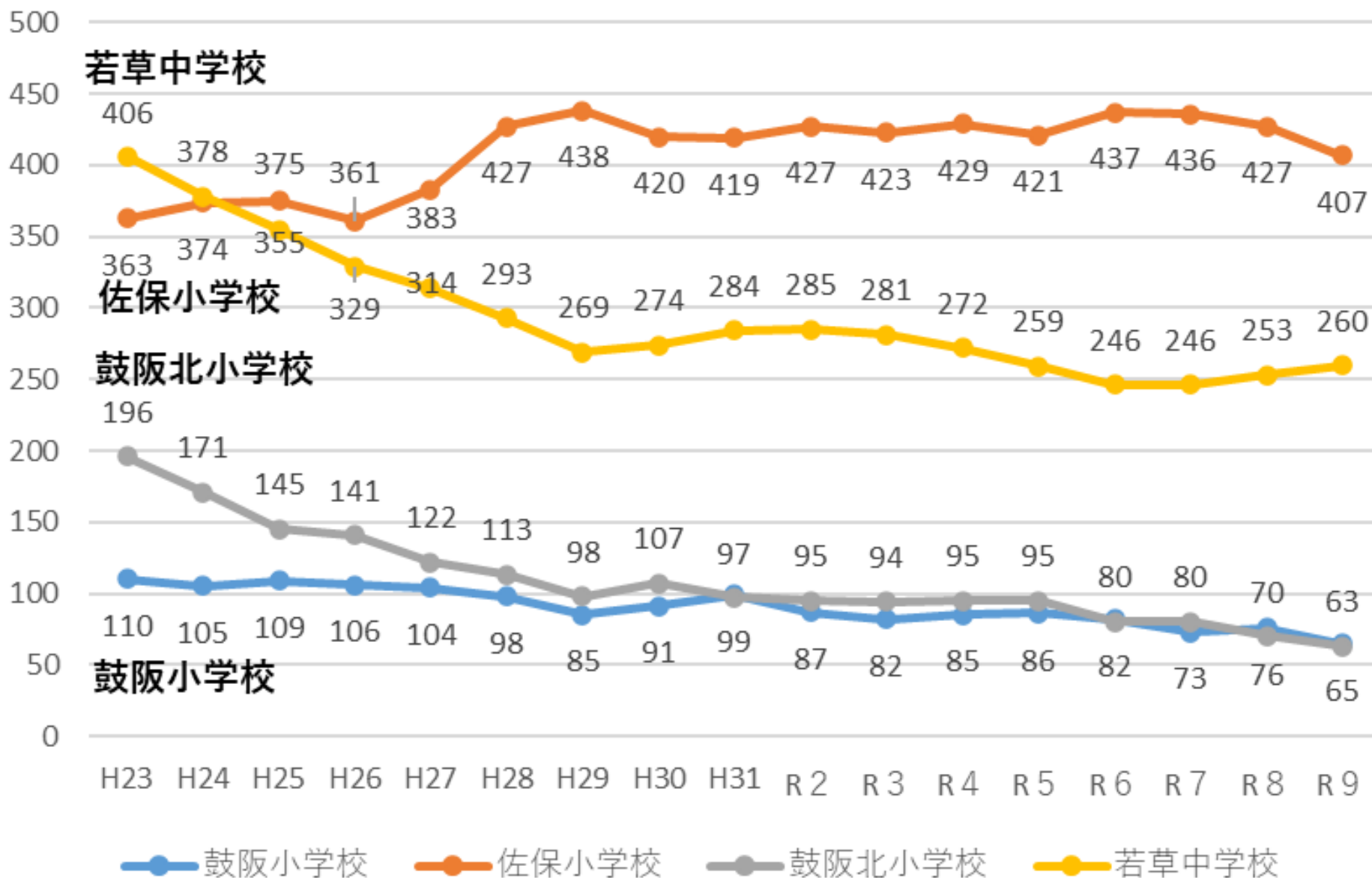
## 鼓阪北小学校

年度 (令和)	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特支 学級	合計	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	人数	学級数
4	14	1	12	1	20	1	9	1	18	1	10	1	12	95	6
5	9	1	14	1	12	1	20	1	9	1	18	1	13	95	6
6	5	1	9	1	14	1	12	1	20	1	9	1	11	80	6
7	8	1	5	1	9	1	14	1	12	1	20	1	12	80	6
8	11	1	8	1	5	1	9	1	14	1	12	1	11	70	6
9	5	1	11	1	8	1	5	1	9	1	14	1	11	63	6

## 若草中学校

年度 (令和)	1年		2年		3年		特支 学級	合計	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	人数	学級数
4	83	3	94	3	87	3	8	272	9
5	73	2	83	3	94	3	9	259	8
6	81	3	73	2	83	3	9	246	8
7	82	3	81	3	73	2	10	246	8
8	79	2	82	3	81	3	11	253	8
9	87	3	79	2	82	3	12	260	8

# 学校別児童生徒数の推移





# 児童生徒数と学級数(令和5年4月10日時点)

\*学級数は特別支援学級を除く

## 小学校の児童数と学級数

小学校	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特支学級	合計	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	人数	学級数
鼓阪	11	1	10	1	15	1	7	1	16	1	19	1	5	83	6
佐保	62	3	70	3	74	3	71	3	66	2	55	2	29	427	16
鼓阪北	9	1	17	1	12	1	20	1	9	1	18	1	13	98	6

## 中学校の生徒数と学級数

中学校	1年		2年		3年		特支学級	合計	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	人数	学級数
若草	65	2	83	3	96	3	9	253	8

## 令和8年度の学校規模予測

	過小規模	小規模	適正規模	大規模
小学校	1～5学級または 6学級で100人未満	7～11学級または 6学級で100人以上	12～18学級 (1学年=2～3学級)	19学級以上
中学校	1～5学級	6～8学級	9～18学級 (1学年=3～6学級)	19学級以上

(令和8年度若草中学校区の小中学校)

- ・ 鼓阪小学校 … 過小規模
- ・ 鼓阪北小学校 … 過小規模
- ・ 佐保小学校 … 適正規模
- ・ 若草中学校 … 小規模

#### ◆ 過小規模校の解消

- ・ 鼓阪小学校は佐保小学校と佐保小学校敷地内で統合
- ・ 佐保小学校校舎は建替え
- ・ 令和8年度の開校予定
- ・ 鼓阪北小学校はHOP青山との連携

# 鼓阪小学校と佐保小学校が統合した場合（児童数の推移）

小学校1,2年・・・30人学級  
3～6年・・・35人学級で計算

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支学級	合計
令和8年度 鼓阪小学校 (過小規模)	学級数	1	1	1	1	1	—	6
	人数	8	7	14	10	12	7	76

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支学級	合計
令和8年度 佐保小学校 (適正規模)	学級数	2	3	2	2	3	—	15
	人数	55	61	65	54	72	46	427



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支学級	合計
令和8年度 統合再編後の 小学校 (適正規模)	学級数	3	3	3	2	3	—	17
	人数	63	68	79	64	84	53	503
	1学級 当たり	21	22.7	26.3	32	28	—	29.6

## 4. 統合による教育的効果

### ●過小規模校のプラス面（→少人数）

- \*個に応じたきめ細かな指導
- \*活躍する場面が多く、積極性や自主性が育つ
- \*地域住民との交流が進めやすい
- \*地域住民に大切にされ育つ傾向



### ●過小規模校のマイナス面

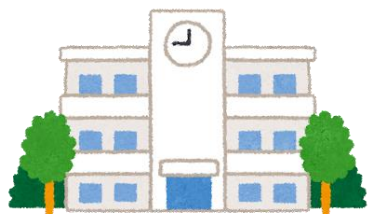
- \*学年の人数や男女比に偏り
- \*子ども同士での学習の深め合いや協働経験の不足
- \*人間関係の固定化
- \*活動場面の多さによる子どもの負担増
- \*社会性・コミュニケーション能力が身につきにくい
- \*多様なものの見方や考え方に触れることが難しい

## ●過小規模校のプラス面（→少人数）

- \*個に応じたきめ細かな指導
- \*活躍する場面が多く、積極性や自主性が育つ
- \*地域住民との交流が進めやすい
- \*地域住民に大切にされ育つ傾向



# 新しい学校に継承



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の  
一体的な充実

## 【子ども】

### ○多様な教育活動を展開できる

- 同学年で複数学級を置くことができ、クラス替えが可能。子どもの居場所も作りやすい。
- 授業でも多様な発言が引き出され、学び合いの機会も増加

### ○集団活動や学校行事の充実

- 集団生活をするなかで、多様な考えに触れ、お互いに協力し合い、切磋琢磨する機会が増える。



## 【教職員】

### ○バランスのとれた教員配置が可能

- 経験年数や専門性などに配慮した教員配置が可能。
- 校務の負担が軽減され、教材研究等の時間を確保できる。
- ひとつの学年に対して、複数の教員の目で見ることができる。

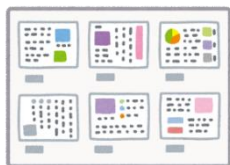


## 【子ども】

### ○学習活動

- 多様な意見交流・役割分担が可能になり、学び合いなど学習活動に深まりが生まれる。

例：ディベート（国語） 合奏（音楽）  
対戦型の競技（体育）  
おもちゃランド（生活）  
ポスターセッション



### ○クラス替え

- 交友関係を広げたり、リセットしたりすることができる。

新しい環境に慣れる訓練

### ○休み時間

- 友達が固定されないので、いろいろな友達といろいろなことをして過ごすことができる。

例：ドッジボール サッカー 鬼ごっこ

本読み  
学校めぐり  
お絵描き



### ○委員会活動・クラブ活動

- 選択の幅が広がり、集団で組織的に学校を創っていく体験をすることができる。



当事者意識の育成





## 【教職員】

### ○教科担任制

- 教員数増加により、教員の専門性を生かした教科担任制が行える。



## 【保護者】

### ○負担の分散

- 奉仕活動やPTA活動等の役割分担により、保護者の負担を分散しやすい。



### ○教育活動の充実

- 複数教員による関わりが実現
- 校務負担軽減による、教材研究等の時間の確保



## 5. これからの教育

— 変化の激しい社会に必要な力を子どもたちに付けていく —

### 子どもたちが生きる社会

グローバル化 仕事の自動化 人工知能の発達  
少子高齢化 ⇒今は存在していない職業に就く

そんな社会を生きる子どもたちに必要な力とは？

### 子どもたちに必要な力

知識 技能 表現力 思考力  
判断力 創造力  
コミュニケーション能力 粘り強さなど

### 必要な力の育成のために

- 同じ空間で時間を共にすることで、お互いの感性や考え方等に触れ刺激し合う。
- 人間同士のリアルな関係づくりは社会を形成していく上で不可欠であり、教師と子どもの関わり合いや子ども同士の関わり合いが必要。
- 学校行事や児童会（生徒会）活動等を含め学校における様々な活動の中で異学年間の交流の機会を充実させる。



社会が変わる



求められる力  
が変わる



教育が変わる



**一定規模の集団が不可欠**

# 奈良市の子どもたちの生活習慣や取り巻く環境の変化

○普段から1日1時間以上テレビゲームをする児童数の割合が増加

H29 55.7%  R4 72.4%


○新聞を読んでいる児童数の割合が減少

44.2%  27.0%


○家でインターネットやスマートフォンを使っている児童数の割合が増加

66.0%  81.5%

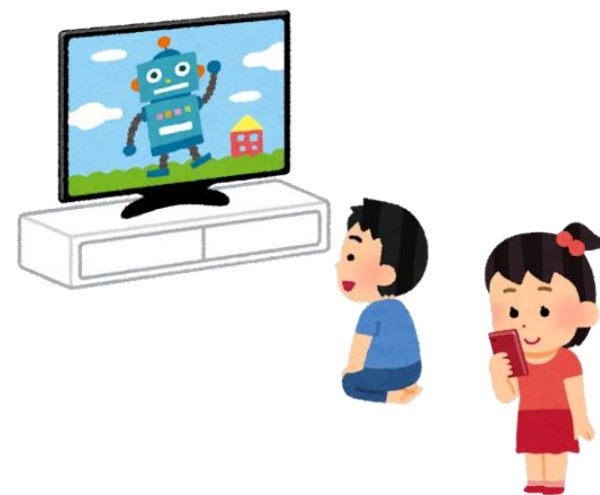
※全国学力学習状況調査  
小学校質問紙調査より



→ 言葉や文字に触れる機会が減少  
→ 対面での会話が減少  
→ 体験活動の減少



未来を生き抜くために  
より多様な教育が求められる



## 6. 学校規模適正化事例

### ・ならやま小中学校（令和4年4月開校）

＊ 2小1中が統合…右京小、神功小、平城西中

意見を出し合い、  
すぐに共有できる  
インターネット環境



図書メディアセンター



渡り廊下（ギャラリー）



トイレ



中庭（あおぞら広場）



広い廊下と教室



授業風景

# 柔軟で豊かな学び 図書×ICT



# 空間をダイナミックに活用 ～教室と廊下を一体的な学びの場として～



生活科の時間につくったおもちゃ  
で「おもちゃランド」を開催！  
幼稚園のお友達を招待しました！

## 〈通学路交通安全プログラムの実施〉

- ・ 右京地区、神功地区合同で点検を実施
  - ・ 交差点マークの設置
  - ・ グリーンベルトの設置
  - ・ 横断歩道の設置
- など

開校までに対策を実施



中央線、路側線の塗り直し



横断歩道の設置



見通しの悪い場所の樹木伐採

# 学校規模適正化を行った 保護者・子どもの声

当初 「環境の変化に対応できるのか」  
「けんかが多くなりそう」など心配の声もあった。



子どもたちから

- 「最初は不安だったが、友達が増えて学校生活がより楽しくなった」
- 「体育を大人数で出来て楽しい」
- 「勉強の教え合いが出来るようになった」

保護者から

- 「音楽、体育、遊び等、人数が増えて色々な体験が出来るようになった」
- 「色々な考え方に触れる機会が増え、自分で問題を解決する力がついてきていると感じる」
- 「人数が増えたことにより良い刺激や、新鮮な気持ちになる」



# 7. 今後のスケジュール

	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)
<b>説明会 協議会</b>	説明会開催 鼓阪、佐保地区での推進協議会（代表者会議）定期的に開催			<b>開校</b>
<b>協議事項</b>	校舎、校歌等への意見・アイデアの集約	学校・PTA組織、特色ある教育等を協議		
<b>校舎 建設</b>	基本設計・実施設計	校舎建設工事		
<b>その他</b>	児童の交流活動の充実 跡地活用の協議			



ありがとうございました。